

指摘事項を踏まえた今後の取組について

(指摘1) ストーリーの体験についてさらに工夫が求められる。足袋に関するマネタイズと日本遺産全体の自立運営に関する仕組みを整理する必要がある。

<今後の対応>

- ・DMOとタイアップして体験型観光商品の販売を実施
- ・(仮称)日本遺産構成文化財公開活用推進員の設置による足袋蔵等の公開・活用の推進
- ・行田足袋に関する情報発信の強化

(指摘2) HPの多言語化、ストーリー理解につながる解説板やストーリーが実感できるモデルコースと交通の整備など、訪問する観光客目線での整備が必要である。

<今後の対応>

- ・HPの多言語化の推進(*今年度中国語版を作成)
- ・説明板にQRコード設置による非公開の足袋蔵内部の可視化
- ・日本遺産カードの作成・配布
- ・日本遺産ガイドセンターの情報発信力強化
- ・旧忍町信用組合店舗のリニューアル・オープン
- ・さきたま史跡の博物館での日本遺産展示の検討

(指摘3) 全体を大きな視点で構想する、プロデューサー的視点が求められる。DMOの収益構造が改善した後の大きなビジョンを可視化すべきである。

<今後の対応>

- ・次の地域活性化計画でビジョンを示せるよう日本遺産庁内検討会議で検討し、計画案を作成